

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	づくり音楽	鑑賞
「さくら さくら」 (共通教材) ◎さくら変そう曲 (4月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律、音階、音色、反復や変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、箏の音楽のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律、音階、音色、反復や変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、箏の音楽のよさを見いだしたりして聴いている。				○
	(3) 日本のうたをもとにした音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、箏の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	日本のうたをもとにした音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

題材名 (扱い時数・扱い月)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	づくり音楽	鑑賞
はくと せんりつ (4～5月)	(1) 曲想と拍や速度など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と拍や速度など音楽の構造との関わりに気付いている。	○			○
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする技能を身に付けている。	○	○		
	(2) 拍や旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	拍や旋律、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。	○			○
	(3) 拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、いろいろな拍子の音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			○

ねらい	教材（◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
声を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりする技能を身に付けるとともに、拍や旋律などが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	ラバーズ コンチェルト ◎メヌエット ◎トルコ行進曲 メリーさんの羊	○「ラバーズ コンチェルト」と「メヌエット」を、指揮の動きをしながら歌ったり聴いたりする。 ○「ラバーズ コンチェルト」と「メヌエット」を比べる。 ○「トルコ行進曲」を、指揮の動きをするなどして2拍子を感じながら聴く。 ○「メリーさんの羊」を、友達の指揮を見て歌ったり演奏したりする。	【知・①】 「ラバーズ コンチェルト」「メヌエット」の曲想と、拍など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思・①】 「トルコ行進曲」の拍や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだして聴いている。 【主・①】 拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知・②】 「メリーさんの羊」の曲想と、拍やその流れ、速度など音楽の構造との関わりに気付いている。
曲想と、拍など音楽の構造との関わりに気付くとともに、拍子の特徴を捉えて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	エーデルワイス	○「エーデルワイス」の主旋律を、拍子を感じ、旋律のまとまりを捉えて歌う。 ○「エーデルワイス」を歌と楽器で合わせて演奏する。	【思・②】 「エーデルワイス」の拍や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【技・①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や音、伴奏を聴いて声を合わせて歌ったり、楽器で演奏したりする技能を身に付けている。

題材名 (扱い時数・扱い月)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
ひびきのある歌声 (5～6月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴く。	思考・判断・表現	音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴いている。				○

	(3) いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ミュージカルの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○
--	---	---------------	---	--	--	--	---

ねらい	教材（◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
音色や旋律などが生み出すよさや面白さを感じ取りながらミュージカルの音楽を聴く。	◎ミュージカル「サウンド オブ ミュージック」から	○ミュージカル「サウンド オブ ミュージック」について知り、各曲を歌声や旋律に注意して聴く。	【思・①】 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージカルの音楽を聴いている。 【主・①】 いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
曲想と旋律や歌詞の内容との関わりに気付くとともに、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	プパポ	○「プパポ」の主旋律（上声部）を、フレーズのまとまりを捉えて、歌い方を工夫する。 ○パートの関わり合い方を意識して二部合唱する。	【知・①】 「プパポ」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【技・①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的旋律、伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けている。

題材名 (扱い月)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
くにつぼんのうた みんなのうた> 「まきばの朝」 (共通教材) (6月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

題材名 (扱い時数・扱い月)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
音の動き方を生かして せんりつをつくろう (7月)	(1) 音の動き方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり、組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	音の動き方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
			発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり、組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。			○	
	(2) 旋律やフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。	思考・判断・表現	旋律やフレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。			○	
	(3) 音の動き方を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、旋律やフレーズに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音の動き方を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○	

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
曲に合った歌い方 (9月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

ねらい	教材（◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
旋律などが生み出すよさを感じ取りながら、表現を工夫するとともに、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	ゆかいに歩けば	○「ゆかいに歩けば」の主旋律の特徴に合う歌い方を考えて歌う。 ○「ゆかいに歩けば」を二部合唱する。	【思・①】 「ゆかいに歩けば」の旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【技・①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。
曲想と旋律や歌詞との関わりに気付くとともに、曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◆とんぴ（共通教材）	○「とんぴ」の旋律の流れや歌詞に合う歌い方を考える。 ○「とんぴ」の旋律を、ふさわしい歌い方で歌う。	【知・①】 「とんぴ」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【主・①】 「とんぴ」の曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
かけ合いと重なり (10～11月)	(1) 曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 楽器の響きやかけ合いなどの面白さを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	楽器の響きやかけ合いなどの面白さを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

ねらい	教材（◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
曲想と音楽の構造との関わりに気付くとともに、音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化が生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎アラ ホーンパイプ	○「アラ ホーンパイプ」の「〈主なせんりつ〉を中心とする部分」を聴き、特徴に気付く。 ○「アラ ホーンパイプ」を全曲通して聴き、形式に気付く。 ○「アラ ホーンパイプ」を全曲通して聴き、よさや面白さを味わう。	【主・①】 楽器の響きやかけ合いなどの面白さを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知・①】 「アラ ホーンパイプ」の曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【思・①】 音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。

題材名 (扱い時数・扱い月)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
くにつぼんのうた みんなのうた> 「もみじ」(共通教材) (10～11月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 旋律や音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	(3) 歌詞や曲想、声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたや二部合唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想、声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

題材名 (扱い時数・扱い月)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
日本と世界の音楽	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために	知識・技能	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。	○			

(11～12月)	必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。		思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	○		○	
	(2) 旋律や音色、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、音楽のよさを見いだし、味わって聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律や音色、リズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもったり、音楽のよさを見いだし、味わって聴いたりしている。	○	○		
	(3) 我が国や諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中から生まれた多様な音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	我が国や諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みもうとしている。				○

ねらい	教材（◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
旋律や音色などが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	ソーラン節 ◎ソーラン節	○「ソーラン節」を、声や歌い方を工夫しながら音頭一同形式で歌う。	【思・①】 「ソーラン節」の旋律や音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
曲想と旋律やリズムなどとの関わりに気付くとともに、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	◎秩父屋台ばやし ◎葛西ばやし ☆おはやしづくりにチャレンジ (日本のお祭りをたずねて)	○「秩父屋台ばやし」などを聴き、お囃子のリズムや楽器の音色に親しんだり、自分たちでお囃子をつくったりする。 ○自分たちの地域にあるお祭りの音楽や、知っているお囃子などについて話し合ったり聴いたりする。	【知・①】 お囃子の曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりに気付いている。 【技・①】 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。 【主・①】 我が国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みもうとしている。

諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	◎サムルノリ ◎サンバの音楽 朝の歌 おどれサンバ	○「朝の歌」を、遠くに呼びかけるような声で歌う。 ○「サムルノリ」や「サンバの音楽」を聴き、リズムや楽器の音色の特徴を感じ取る。 ○「おどれサンバ」を楽器のリズムで伴奏して歌い合わせる。	【主・①】 我が国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技・②】 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。 【主・②】 諸外国に伝わるいろいろな音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思・②】 「おどれサンバ」のリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもっている。
--	------------------------------------	---	--

題材名 (扱い時数扱い月)	目標	学習活動に即した評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
音階をもとにして 音楽をつくろう (12月)	(1) 様々な音階の響きの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	様々な音階の響きの特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
			発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。			○	
	(2) 旋律や音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや、音階による旋律の雰囲気の違いを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。	思考・判断・表現	旋律や音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや、音階による旋律の雰囲気の違いを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。			○	
	(3) 音階をもとにして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、日本の旋律に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	音階をもとにして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○	
題材名 (扱い時数・扱い月)	目標	題材の評価規準例		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞

パートの役わり (1月)	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。		○		
			思いや意図に合った表現をするために必要な、音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○		
	(2) フレーズや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	フレーズや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
	(3) 曲想や声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、タンゴの音楽や合奏に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想や声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○		

ねらい	教材（◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
音色に気を付け、音を合わせて演奏する技能を身に付けるとともに、フレーズや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、曲の特徴を捉えた表現を工夫する。	ラ クンパルシータ	○主旋律が続くように、鍵盤ハーモニカの1・2パートを合わせて演奏する。 ○担当するパートを決めて練習する。 ○全員やグループで合奏する。	【技・①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色に気を付け、互いの音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 【知・①】 「ラ クンパルシータ」の曲想と、声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。 【主・①】 「ラ クンパルシータ」の曲想や声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思・①】 「ラ クンパルシータ」のフレーズや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

題材名 (扱い時数・扱い月)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
音楽のききどころ (2月)	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	(2) 音色、旋律、反復、変化、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴く。	思考・判断・表現	音色、旋律、反復、変化、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。				○
	(3) 曲想とその変化を捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、オーケストラの響きに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲想とその変化を捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。				○

ねらい	教材（◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
曲想と旋律や音色などとの関わりに気付くとともに、音色、旋律、反復、変化、強弱、速度などが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎ノルウェー舞曲 第2番	○「ノルウェー舞曲 第2番」を、曲全体の曲想や構成を捉えて聴く。 ○「始め」「中」「終わり」の特徴の変化に気を付けて聴く。 ○曲全体の特徴や演奏のよさを味わって聴く。	【主・①】 「ノルウェー舞曲 第2番」の曲想とその変化を捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【知・①】 「ノルウェー舞曲 第2番」の曲想と、旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。 【思・①】 「ノルウェー舞曲 第2番」の音色、旋律、反復、変化、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。

題材名 (扱い時数・扱い月)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
思いに合った表げん (2～3月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。		○		
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○		

	(2) 音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
	(3) 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。		○		

ねらい	教材(◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
音色や旋律、音の重なりなどが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	遠き山に日は落ちて	○「遠き山に日は落ちて」の両方の声部をリコーダーで演奏し、役割やふさわしい響きについて考える。 ○「遠き山に日は落ちて」を聴き合いながら二部合奏する。 ○学校の中で流れている音楽について意見を交流する。	【知-①】 「遠き山に日は落ちて」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。 【主-①】 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。 【思-①】 音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、「遠き山に日は落ちて」の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

題材名 (抜い月)	目標	題材の評価規準		歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
思いに合った表げん (3月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
			思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	(2) 音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについ	思考・判断・表現	音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、	○			

	て思いや意図をもつ。		どのように歌うかについて思いや意図をもっている。				
	(3) 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○			

ねらい	教材（◆共通教材 ◎鑑賞 ☆音楽づくり）	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準
音色や旋律、音の重なりなどが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫するとともに、1年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。	グッデー グッバイ	○「グッデー グッバイ」の両方の声部を歌い、役割やふさわしい歌い方について考える。 ○「グッデー グッバイ」を聴き合いながら二部合唱する。 ○学校の中で流れている音楽について意見を交流する。	【知・①】 「グッデー グッバイ」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 【主・①】 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技・①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けている。 【思・①】 音色や旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「グッデー グッバイ」の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

題材名 (扱い月)	目標	題材の評価規準	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 役わりをもとに音楽をつくろう (3月)	(1) フレーズなどのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて気付くとともに、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	知識・技能 フレーズなどのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さに関わらせて気付いている。 発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。			○	
					○	

	(2) フレーズ、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりして表現を工夫する。	思考・判断・表現	フレーズ、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりして表現を工夫している。			○	
	(3) 役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽の縦と横との関係に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			○	